

概 要

本庄市

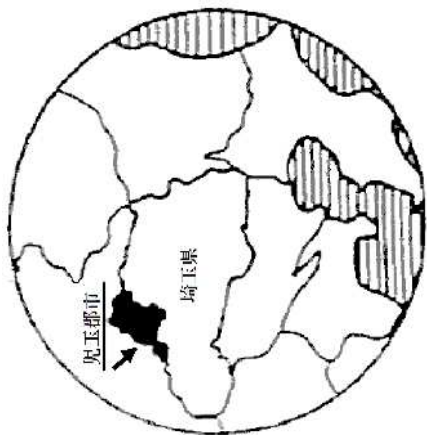
上里町



美里町

神川町

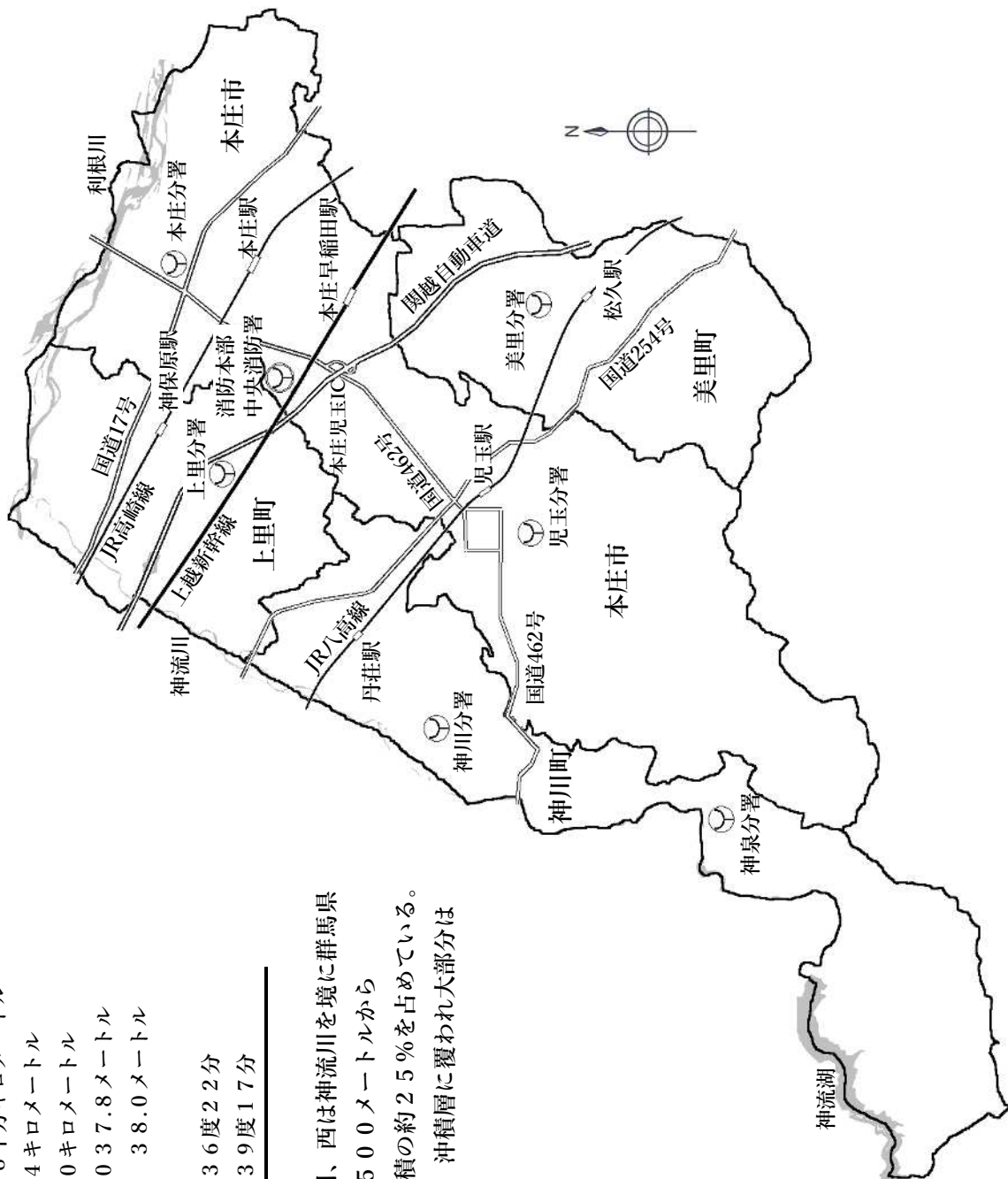
位置と地勢



面積	199.68平方キロメートル
広ほう	東西 24キロメートル 南北 20キロメートル
海拔	最高 1037.8メートル 最低 38.0メートル
消防本部庁舎位置	
北緯	36度22分
東経	139度17分

児玉郡市は、埼玉県の西北端に位置し、北は利根川、西は神流川を境に群馬県に接している。南西の秩父市及び秩父郡境には、標高500メートルから1,000メートルの山々が連なり、林野面積は管内面積の約25%を占めている。

地質は、児玉扇状地の洪積台地上ほぼ全域にわたり、沖積層に覆われ大部分は農耕地帯となっている。



消防本部・署の所在地等

名称	住所	電話番号	FAX
消防本部	総務課	0495(24)0119	
	予防課	0495(24)8392	0495(24)8393
	警防課	0495(24)8391	
中央消防署	指令課	0495(24)1119	0495(24)8394
中央消防署	本庄市西富田 904-3	0495(24)8395	0495(24)8396
本庄分署	本庄市 224	0495(21)2177	同左
児玉分署	本庄市児玉町長沖 290-1	0495(72)1581	同左
美里分署	美里町大字木部 323-5	0495(76)1190	同左
神川分署	神川町大字新里 396-1	0495(77)2086	同左
神泉分署	神川町大字下阿久原 879-12	0274(52)3409	同左
上里分署	上里町大字七本木 295	0495(33)0442	同左

沿 革

昭和48年	3月	本庄市、美里村、児玉町、神川村、神泉村、上里町の1市2町3村により 児玉郡市広域消防本部を設立	条例定数190名
昭和48年	4月	1本部1署1分署職員数120名で業務開始、消防長設楽明稔氏就任	
		消防力	
		普通ポンプ自動車	3台
		水槽付消防ポンプ自動車	2台
		化学消防ポンプ自動車	1台
		救急自動車	3台
		指令車	2台
		自動二輪車	3台
		計	14台
昭和48年	5月	職員8名採用	実員128名 条例定数190名
昭和48年	7月	本庄南分署、美里出張所、神川出張所、上里出張所の各庁舎が竣工し、業務開始	
昭和48年	8月	埼玉県共済農業協同組合連合会から、救急車（トヨタRH18V）が寄贈され、上里出張所へ配置	
		連絡車（日産スカイライン）2台購入、本庄南分署、児玉分署へ配置	
		救急車（日産VE20）2台購入、美里出張所、神川出張所へ配置	
昭和48年	12月	神泉出張所庁舎が竣工し、業務開始	
昭和49年	1月	職員1名採用	実員124名 条例定数190名
昭和49年	2月	水槽付消防ポンプ自動車（日産FS780）を5台購入、本庄南分署、美里出張所、神川出張所、神泉出張所、上里出張所へ配置	
		はしご付消防ポンプ自動車32m（三菱T911N）購入、本庄南分署へ配置	
昭和49年	4月	職員22名採用	実員148名 条例定数190名
昭和49年	4月	消防の外郭団体 本庄市危険物安全協会を本庄地区危険物安全協会と名称変更	
昭和49年	12月	水槽付消防ポンプ自動車（トヨタFC100）購入、児玉分署へ配置	
昭和50年	1月	救助器具運搬車（日産VE20）購入、本庄消防署へ配置	
昭和50年	4月	高圧ガス製造所を本庄南分署敷地内に設置	
昭和50年	5月	指令車（ダットサンブルーバード）購入、消防本部へ配置	
昭和50年	11月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞSBR320）購入、本庄消防署へ配置	
昭和51年	5月	消防長設楽明稔氏退任に伴い、加藤傳一氏就任	
		連絡車（ダットサンブルーバード）購入、本庄消防署へ配置	
昭和52年	4月	指令車（トヨペットコロナ）購入、消防本部へ配置	
昭和52年	10月	普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、児玉分署へ配置	
昭和53年	3月	連絡車（トヨタカローラ）2台購入、美里出張所、上里出張所へ配置	
昭和53年	4月	職員2名採用	実員144名 条例定数190名
		連絡車（トヨタカローラ）購入、神川出張所へ配置	
昭和53年	10月	普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、本庄南分署へ配置	
昭和54年	3月	救急車（トヨタH-RH42VB）購入、児玉分署へ配置	
昭和54年	3月	連絡車（トヨタカローラ）購入、神泉出張所へ配置	
昭和54年	4月	職員10名採用	実員154名 条例定数190名
昭和55年	1月	普通ポンプ自動車（いすゞTLD44）購入、本庄消防署へ配置	
昭和55年	3月	救急車（日産J-HPE21）購入、本庄消防署へ配置	
昭和55年	4月	職員5名採用	実員158名 条例定数190名
昭和55年	4月	消防指令センターが竣工し、業務開始	
昭和55年	5月	連絡車（トヨペットコロナ）購入、本庄消防署へ配置	

昭和56年	2月	日本損害保険協会から救急車（トヨタJ-RH45VB）が寄贈され、本庄南分署へ配置
昭和56年	2月	救急車（トヨタJ-RH45VB）購入、神泉出張所へ配置
昭和56年	10月	消防長加藤傳一氏退任に伴い、小山忠夫氏就任
昭和58年	2月	救急車（トヨタL-YH71VB）購入、上里出張所へ配置
昭和58年	4月	職員4名採用 実員161名 条例定数190名
昭和58年	12月	化学消防ポンプ自動車Ⅱ型（いすゞK-SDR370）購入、本庄消防署へ配置
昭和59年	2月	救急車（トヨタL-YH71VB）購入、美里出張所へ配置
昭和59年	4月	消防本部（総務課・予防課）広域総合センターへ移転
昭和59年	4月	職員3名採用 実員163名 条例定数190名
昭和60年	3月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP-FRR12D）購入、上里出張所へ配置
昭和60年	3月	救急車（トヨタL-YH71VB）購入、神川出張所へ配置
昭和60年	4月	職員4名採用 実員164名 条例定数190名
昭和60年	4月	上里出張所を分署昇格
昭和60年	11月	指令車（トヨタカローラ）購入、消防本部（警防課）へ配置
昭和61年	1月	消防ポンプ自動車CD-I型（三菱P-FE114B）購入、上里分署へ配置
昭和61年	4月	消防長小山忠夫氏退任に伴い、根岸三朗氏就任
昭和61年	4月	防災指導車（スバルトライ）購入、消防本部（予防課）へ配置
昭和61年	5月	庁用車（日産ブルーバード）購入、消防本部（総務課）へ配置
昭和62年	1月	水槽付消防ポンプ自動車（三菱P-FK416E）購入、神川出張所へ配置
昭和62年	5月	消防の外郭団体 本庄地区危険物安全協会を児玉郡市防火安全協会と名称変更
昭和62年	7月	連絡車（トヨタカローラ）購入、児玉分署へ配置
昭和62年	12月	救助工作車（日野P-GD172BA）購入、本庄消防署へ配置
昭和62年	12月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP-FRR12DAV）購入、美里出張所へ配置
昭和63年	4月	美里出張所、神川出張所、神泉出張所、分署昇格
昭和63年	7月	連絡車（トヨタカローラ）購入、本庄南分署へ配置
昭和63年	12月	水槽付消防ポンプ自動車（三菱P-FK417E）購入、本庄消防署へ配置
昭和63年	12月	水槽付消防ポンプ自動車（日野P-FD171BA）購入、神泉分署へ配置
平成元年	4月	消防本部（警防課）広域総合センターへ移転
平成元年	6月	指令車（トヨタカローラ）2台購入、消防本部（予防課）へ配置
平成2年	3月	水槽付消防ポンプ自動車（いすゞP-FRR12DAVF）購入、児玉分署へ配置
平成2年	3月	消防長根岸三朗氏退任に伴い、門倉初彦氏就任
平成2年	4月	職員4名採用 実員165名 条例定数 190名
平成2年	9月	連絡車（トヨタカローラ）購入、上里分署へ配置
平成2年	11月	救急車（トヨタT-R2H132S）購入、本庄消防署へ配置
平成3年	2月	高圧ガス製造設備YS-55型に更新
平成3年	3月	本庄南分署消防緊急通信指令施設導入に伴う増改築工事
平成3年	4月	警防課指令係を指令課に昇格
平成3年	4月	資材搬送車（いすゞP-NHR54E）本庄消防署へ配置
平成3年	4月	職員2名採用 実員167名 条例定数 190名
平成4年	3月	消防緊急通信指令施設Ⅱ型竣工
平成4年	4月	職員5名採用 実員171名 条例定数 190名
平成4年	9月	連絡車（ホンダ アクティ）購入、消防本部（指令課）へ配置
平成4年	10月	連絡車（日産ADバン）購入、美里分署へ配置
平成5年	1月	消防ポンプ自動車CD-I型（いすゞU-NKS58G）購入、児玉分署へ配置
平成5年	4月	職員7名採用 実員172名 条例定数 190名
平成5年	6月	応急処置拡大に伴う資器材を購入救急車6台に積載
平成5年	7月	日本消防協会から救急車（いすゞ ファーゴ）が寄贈され、児玉分署へ配置
平成5年	8月	連絡車（日産ADワゴン）購入、本庄消防署へ配置

平成 5 年 1 2 月 消防ポンプ自動車CD-I型(三菱V-FE337B)購入、本庄南分署へ配置

平成 6 年 1 月 エーザイ(株)から指令車(日産ADワゴン)が寄贈され、消防本部(予防課)へ配置

平成 6 年 4 月 職員5名採用 実員177名 条例定数 190名

平成 7 年 1 月 消防ポンプ自動車CD-I型(三菱U-FE538B)購入、本庄消防署へ配置

平成 7 年 1 2 月 神川町役場から庁用車(トヨタE-MS137)が寄贈され、消防本部(総務課)へ配置

平成 8 年 2 月 はしご付消防自動車30m級(日野KC-PR4FPDE)購入、本庄南分署へ配置

平成 8 年 4 月 職員4名採用 実員181名 条例定数 190名

平成 9 年 1 月 高規格救急自動車(いすゞKC-NPR71LV)購入、本庄消防署へ配置

平成 9 年 3 月 彩の国レスキュー隊発足に伴い、救助工作車Ⅲ型(日野KC-FTI JHBA)購入、本庄消防署へ配置

平成 9 年 4 月 消防長門倉初彦氏退任に伴い、小島正男氏就任

平成 9 年 4 月 職員4名採用 実員183名 条例定数 190名

平成 10 年 1 月 救急車(トヨタCK-KZH138S)購入、神泉分署へ配置

平成 10 年 3 月 消防救助技術訓練場 竣工

平成 10 年 4 月 職員7名採用 実員189名 条例定数 203名

平成 11 年 2 月 高規格救急自動車(トヨタGB-VCH32S)購入、児玉分署へ配置

平成 11 年 4 月 救急車(トヨタGA-RZH32S)購入、上里分署へ配置

平成 11 年 4 月 職員7名採用 実員195名 条例定数 203名

平成 12 年 3 月 化学消防ポンプ自動車(日野KK-GDIGJDA)購入、本庄南分署へ配置

平成 12 年 3 月 水槽付消防ポンプ自動車(日野KK-FDIGEDA)購入、上里分署へ配置

平成 12 年 4 月 職員3名採用 実員196名 条例定数 203名

平成 13 年 1 月 救急車(トヨタGE-VCH22S)購入、美里分署へ配置

平成 13 年 1 月 救急車(トヨタGE-VCH22S)購入、神川分署へ配置

平成 13 年 4 月 職員4名採用 実員197名 条例定数 203名

平成 13 年 10 月 指令車(日産ウイングロード)購入、消防本部(警防課)へ配置

平成 14 年 1 月 水槽付消防ポンプ自動車I-A型(日野KK-FD1JEDA改)購入、神川分署へ配置

平成 14 年 1 月 消防ポンプ自動車CD-I型(いすゞNK R 7 1 G N改)購入、上里分署へ配置

平成 14 年 4 月 消防長小島正男氏退任に伴い、川田博享氏就任

平成 14 年 4 月 職員7名採用 実員197名 条例定数203名

平成 14 年 7 月 庁用車(日産セフィーロ GF-A33)購入、消防本部(総務課)へ配置

平成 14 年 7 月 児玉町から庁用車(日産セドリック E-Y31)が寄贈され、消防本部(総務課)へ配置

平成 14 年 9 月 高規格救急自動車(トヨタKC-PR4FPDF)購入、本庄南分署へ配置

平成 15 年 4 月 職員4名採用 実員199名 条例定数203名

平成 15 年 7 月 連絡車(日産ウイングロード)購入、児玉分署へ配置

平成 15 年 10 月 資器材搬送車(KR-NPR72LR)購入、本庄南分署へ配置

平成 16 年 1 月 災害対応水槽付消防ポンプ自動車I-A型(日野KK-FD1JEDA改)購入、本庄消防署へ配置

平成 16 年 4 月 職員3名採用 実員199名 条例定数203名

平成 16 年 4 月 防災指導車(スバルサンバーバン)購入、消防本部(指令課)へ配置

平成 16 年 8 月 指令車(トヨタカローラフィールダー)購入、消防本部(予防課)へ配置

平成 16 年 1 2 月 災害対応水槽付消防ポンプ自動車I-A型(日野PB-FD7JEFA改)購入、美里分署へ配置

平成 17 年 4 月 職員4名採用 実員199名 条例定数203名

平成 17 年 9 月 児玉郡市防火安全協会から指令車(日産UA-NT30)が寄贈され、消防本部(予防課)へ配置

平成 17 年 1 1 月 資器材搬送車積載コンテナ購入、本庄南分署へ配置

平成 18 年 1 月 神川町と神泉村が合併し神川町 本庄市と児玉町が合併し本庄市となる

平成 18 年 1 月 水槽付消防ポンプ自動車I-A型(日野ADG-FD7JEW A改)購入、児玉分署及び神泉分署へ配置

平成18年 3月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、本庄南分署へ配置

平成18年 4月 児玉郡市防火安全協会から寄贈（日産UA-NT30）の車両、本庄消防署へ指揮車として配置

平成18年12月 災害対応特殊救急自動車（トヨタCBF-TRH226S）購入、本庄南分署へ配置

平成19年 3月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、神川分署へ配置

平成19年 4月 消防長川田博享氏退任に伴い、久保田文雄氏就任

平成19年 4月 職員6名採用 実員197名 条例定数203名

平成20年 2月 消防ポンプ自動車CD-I型（いすゞBDG-NMS85AN）購入、児玉分署へ配置

平成20年 3月 高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH221S）購入、上里分署へ配置

平成20年 3月 防災指導車（スバルサンバーバン）購入、予防課へ配置

平成20年 3月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、上里分署へ配置

平成20年 3月 水上オートバイ（ヤマハMJ-VX DX）購入、本庄消防署へ配置

平成20年 4月 消防長久保田文雄氏退任に伴い、岡芹喜行氏就任

平成20年 4月 職員16名採用 実員201名 条例定数203名

平成21年 2月 消防ポンプ自動車CD-I型（いすゞBDG-NMR85N）購入、本庄南分署へ配置

平成21年 3月 指令車（日産ウイングロード）購入、消防本部（予防課）へ配置

平成21年 4月 消防長岡芹喜行氏退任に伴い、今井菊雄氏就任

平成21年 4月 職員13名採用 実員199名 条例定数203名

平成21年 8月 連絡車（日産キャラバン）購入、本庄消防署へ配置

平成22年 2月 高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH221S）購入、児玉分署へ配置

平成22年 3月 高機能消防指令センター竣工

平成22年 4月 消防長今井菊雄氏退任に伴い、西巻一夫氏就任

平成22年 4月 職員20名採用 実員200名 条例定数203名

平成22年10月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、美里分署へ配置

平成22年12月 高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH221S）購入、美里分署へ配置

平成22年12月 消防ポンプ自動車CD-I型（いすゞBKG-NMR85N）購入、本庄消防署へ配置

平成23年 4月 消防長西巻一夫氏退任に伴い、坂本喜久夫氏就任

平成23年 4月 職員11名採用 実員199名 条例定数203名

平成23年10月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、指令課へ配置

平成24年 3月 高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH221S）購入、神川分署へ配置

平成24年 3月 救助工作車II型（日野SDG-GX7JGAA）購入、本庄消防署へ配置

平成24年 4月 消防長坂本喜久夫氏退任に伴い、金井眞澄氏就任

平成24年 4月 職員11名採用 実員200名 条例定数203名

平成24年11月 庁用車（日産セレナ ハイブリッド）購入、消防本部（総務課）へ配置

平成24年11月 高規格救急自動車（日産CBF-FPGE50改）購入、本庄消防署へ配置

平成25年 4月 消防長金井眞澄氏退任に伴い、岡芹文一氏就任

平成25年 4月 職員10名採用 実員203名 条例定数203名

平成25年 9月 連絡車（スバルサンバーバン）購入、神泉分署へ配置

平成25年12月 高規格救急自動車（日産CBF-FPWGE50改）購入、神泉分署へ配置

平成26年 4月 消防長岡芹文一氏退任に伴い、金子健一氏就任

平成26年 4月 職員7名採用 実員206名 条例定数229名

平成27年 1月 新消防本部・消防署庁舎竣工（本庄市西富田904番地3）

平成27年 2月 消防・救急デジタル無線運用開始

平成27年 3月 化学消防ポンプ自動車（日野SDG-GD7JGAA 改）購入、本庄南分署へ配置

平成27年 3月 災害対応水槽付消防ポンプ自動車I-B型（日野SDG-GX7JGAA改）購入、上里分署へ配置

平成27年 4月 消防本部・中央消防署新庁舎業務開始 本庄消防署は本庄分署へ変更、本庄南分署を廃止

平成27年 4月 消防長金子健一氏退任に伴い、中野和夫氏就任

平成27年 4月	職員12名採用 実員202名 条例定数229名
平成27年10月	児玉郡市防火安全協会から庁用車（トヨタアクア）が寄贈され 消防本部（予防課）へ配置
平成27年12月	はしご付消防自動車30m級（日野QDG-PR1APEF）購入、中央消防署へ配置
平成28年 4月	消防長中野和夫氏退任に伴い、中野三千雄氏就任
平成28年 4月	職員7名採用 実員205名 条例定数229名
平成28年11月	日本消防協会から連絡車（三菱デリカ）が寄贈され、 消防本部（警防課）へ配置
平成28年12月	災害対応特殊救急自動車（トヨタCBF-TRH226S）購入、中央消防署へ配置
平成29年 2月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車Ⅰ-B型（日野SDG-GX7JGAA改）購入、神川分署へ配置
平成29年 3月	消防ポンプ自動車CD-Ⅰ型（日野TKG-XZU640M）購入、上里分署へ配置
平成29年 4月	職員4名採用 実員209名 条例定数229名
平成29年 6月	児玉分署新庁舎が竣工し、業務開始（本庄市児玉町長沖290番地1）
平成29年10月	高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH226S）購入、上里分署へ配置
平成30年 1月	水槽付消防ポンプ自動車Ⅱ型（日野2DG-FE2ABA）購入、児玉分署へ配置
平成30年 3月	連絡車（日産クリッパー）購入、児玉分署へ配置
平成30年 4月	消防長中野三千雄氏退任に伴い、矢島淑彦氏就任
平成30年 4月	職員4名採用 実員207名 条例定数229名
平成30年 5月	本庄分署新庁舎が竣工し、業務開始（本庄市224番地）
平成31年 3月	災害対応特殊水槽付消防ポンプ自動車水Ⅰ-B型（日野2PG-FSS90S2改）購入、本庄分署へ配置
平成31年 4月	職員3名採用 実員209名 条例定数229名
令和元年 7月	庁用車（ホンダフィット DAA-GP5）購入、消防本部（総務課）へ配置
令和元年 9月	水上オートバイ（カワサキ STX-15F）購入、中央消防署へ配置
令和元年11月	高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH226S）購入、本庄分署へ配置
令和元年11月	高規格救急自動車（トヨタCBF-TRH226S）購入、児玉分署へ配置
令和2年 4月	消防長矢島淑彦氏退任に伴い、鈴木健一氏就任
令和2年 4月	職員6名採用 実員215名 条例定数229名
令和2年 8月	庁用車（日産クリッパー）購入、消防本部（予防課）へ配置
令和2年 8月	消防緊急通信指令施設部分更新工事
令和2年11月	高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、美里分署へ配置
令和2年12月	消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD-Ⅰ型（日野2KG-XZU685M）購入、美里分署へ配置
令和3年 3月	（一社）PFI開発支援機構と「ホワイトシャッタープロジェクト」事業に関する協定書を締結
令和3年 3月	NET119緊急通報システム導入
令和3年 4月	消防長鈴木健一氏退任に伴い、飯田俊一氏就任
令和3年 4月	職員7名採用 実員214名 条例定数229名
令和3年12月	消防ポンプ自動車（CAFS装置付）CD-Ⅰ型（日野2KG-XZU685M）購入、神川分署へ配置
令和4年 1月	連絡車（ダイハツ ハイゼットカーゴ）購入、本庄分署へ配備
令和4年 3月	高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、中央消防署へ配置
令和4年 3月	高規格救急自動車（トヨタ3BF-TRH226S）購入、神川分署へ配置
令和4年 4月	消防長飯田俊一氏退任に伴い、立石博敏氏就任
令和4年 4月	職員8名採用 実員216名 条例定数229名
令和5年 3月	連絡車（スズキ ジムニー）購入、神川分署へ配置
令和5年 4月	職員4名採用 実員214名 条例定数229名

構成市町の概要

令和5年4月1日現在
(住民基本台帳による)

市町名	人口	世帯数	面積(km ²)
本庄市	77,473	36,043	89.69
美里町	10,891	4,556	33.41
神川町	13,083	5,908	47.40
上里町	30,534	13,383	29.18
合計	131,981	59,890	199.68

消防庁舎の現況

令和5年4月1日現在

署別	構造	敷地面積	面積	
			建(m ²)	延(m ²)
消防本部 中央消防署	鉄筋コンクリート造平屋建	15,801.04	2,861.73	2,721.02
本庄分署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	2,800.64	624.05	873.04
児玉分署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	2,528.97	718.91	998.12
美里分署	鉄筋コンクリート造2階建	790.68	188.85	335.19
神川分署	鉄筋コンクリート造2階建	1,034.92	188.85	335.19
神泉分署	鉄筋コンクリート造2階建	280.82	150.91	265.97
上里分署	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造2階建	1,422.00	256.12	398.52